

居場所づくりで ゲームなど寄贈

2社と岐阜信金
岐阜市の中学に

岐阜市太郎丸の石坂塗装、同市細畑の丸盛金物と岐阜信用金庫は17日、市内中学校10校の「校内フリースペース」にゲームなどの備品を寄贈した。

発行額の0・1%に当たる金額を、発行企業の意向

を踏まえて寄付する「ぎふしんSDGs私募債(子育て支援型)」を活用した。

同金庫はこれまでも、不登校などの経験がある児童、生徒が校内で過ごす場所「校内フリースペース」に備品寄贈などの支援をしている。今回はカードゲームやボードゲーム、けん玉など、生徒から要望があった物を選んだ。

贈呈式では、同金庫の光崎修専務理事が水川和彦市教育長に目録を贈呈。光崎専務理事は「子どもの居場所

をつくることは大切で取り組みに賛同している」と述べた。(小田香緒里)



水川和彦市教育長に目録を渡した岐阜信用金庫の光崎修専務理事(左)＝岐阜市役所